



苗ヶ丘

舞鶴市立中舞鶴小学校
学校だより 12月号
令和7年11月28日発行
<http://nakamaizuru-maizuru.edumap.jp>



一人一人を大切に ～人権月間～

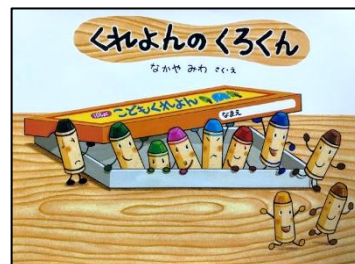


師走の訪れとともに寒さが一段と厳しくなってきましたが、子どもたちは元気に過ごしています。今年もあとひと月、2学期を締めくくるまとめの時期となりました。

さて本校では、11月10日から12月10日までの1か月間を「一人一人を大切にする月間（人権月間）」として、全校で人権について考える取組を進めています。人権とは、すべての人が生まれながらに持っている「幸せに生きる権利」です。国籍や性別、年齢、障害の有無などに関わらず、誰もが尊重され安心して暮らすことができる権利であり、子どもたちにとっては「いじめや差別をしない」「お互いの違いを認め合う」ということが、人権を守る第一歩となります。

人権月間の初めには人権集会を開き、校長から『くれよんのくろくん』の絵本を紹介しました。このお話に出てくる黒いクレヨンの“くろくん”は、「きれいに描いた絵を黒くされたらたまらないよ。」と、他の色のクレヨンたちに仲間外れにされてしまいます。みんなが楽しそうに絵を描くのを見ながら「なんでぼくって、こんな色なんだろう…。」と悲しくなるくろくんでしたが、最後には、黒色だからそのよさを発揮し、きれいな花火の絵を描くことができました。「くろくん、さっきはごめんよ。」「黒ってすごいね。」と言われ、とても嬉しそうなくろくんでした。

このお話をもとに、子どもたちには、誰もがかけがえのない大切な存在であることを伝えました。だからこそ「自分たちとは違うから」という理由でいじめたり、差別したりすることは絶対に許されません。困っている友達がいたら「どうしたの？」と声をかけたり、友達のよいところを見つけて「すごいね！」と伝えたりすることで、みんなが安心して過ごせる中舞鶴小学校をつくっていかうと話しました。



「くれよんのくろくん」
なかや みわ 作・絵（童心社）

人権月間をきっかけに、子どもたちが自身の言動を振り返り、一人一人を大切にするために自分にできることを考えられたらと思います。子どもたちが互いを尊重し安心して学べる学校であるために、私たち教職員も一層努力してまいります。ご家庭でも「人を大切にするってどういうこと？」と話題にしていただければ幸いです。子どもたちのよりよい成長のため、今後も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

子どもたちの人権標語を紹介します！



◆みんながうれしくなるよ。

「ありがとう。」「それもいいね。」「すごいね。」のことば

【2年生】

◆人のちがい くらべてみとめて ナイスなクラス 【4年生】

◆思いやり 笑顔になれる おまじない 【6年生】

校長 矢野 裕子
教 職 員 一 同



中舞鶴小学校
ホームページは
こちらから！

